

「リーダーの一流、二流、三流」という本からです

三流は、社内の人とだけ接し、二流は、朝活に参加し、一流は、夜にセミナーや食事会の予定を入れる。

「飲みニュケーション」と言って、しょっちゅう社内の人を誘って出かけている人はいませんか？
気ままなメンバーとお決まりの居酒屋で終電まで飲んで、ときにはタクシーで帰ることもあるでしょう。
もちろん、社内での交流は大切です。

しかし、リーダーともなれば、ときには社外の人とも交流し、視野を広げるべきです。リーダーは幅広い視点を持たなければなりません。

仕事に関係ない人と交流するのは、時間をもったいないという方がいます。

そのような人は、会社で参加させてくれるセミナーに行っても、隣の人とまったく交流しなかったりします。
しかし、社外の人からは、違った業界ならではの普段得られない知識や、異なる視点が得られ、刺激になります。仕事のヒントは他業種にもあります。そもそもアイデアは既存の要素の組み合わせです。

他業種で流行していることを自社にとり入れると、意外に発展することもあるのです。

特に社外の交流する場所にくるような人は、愚痴を言うこともなく、意識の高い人が多いのが特徴です。競争相手になることもありませんから、蹴落とし合いになることもなく、仕事のヒントになるノウハウを提供してくれたりもします。

社外の人と交流するのに「朝活（あさかつ）」をする方がいます。「朝活」は出勤する前に朝食をとりながら、読書会をしたり、あるいは決まったテーマについての討論会をします。

ときには有名な講師やビジネス書の著者の方が、格安の値段で講演していることもあり、非常にお得感もあつたりします。

しかし、一流のリーダーは、朝活よりも夜のセミナーや食事会に積極的に参加しています。朝、起きた直後は一番頭がさえていて、「朝の1時間は深夜の3時間分」と言う方もいます。

だから一流のリーダーは、朝の時間を大切にし、英語の勉強をしたり、ビジネス書を読んだりしています。貴重な朝をインプットにあて、人との交流は夜にしようとするのです。

また、社外のメンバーを飲みに行くときは、時間を厳守しなくてはなりません。もちろん、社内のメンバーと行くときも開始時間を守らなくていいわけではありませんが、お互いに仕事の状況もわかることから、「まあ遅れるのも仕方ないか」となります。

社外の人とはそういうわけにはいきませんから、定刻に間に合わないといけないという締め切り効果が出て、その日の仕事のスピードアップにもつながるのです。

一流のリーダーは朝活より何に積極的に参加していますか？

() や ()